USMCA 見直しに関する共同声明（正文英語）

2026 年 11 月 9 日

北米全域に多額の投資を行う企業を代表する主要な経済団体として、われわれは、米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）（以下「本協定」）の共同見直しが迅速かつ建設的に進展することを強く支持する。本協定は、世界で最も統合が進み、競争力の高い経済圏の一つである北米地域を支える基盤であり、国境を越えた貿易投資やサプライチェーンの強靭化に不可欠な安定をもたらしている。また、本協定があるからこそ、企業は長期的な事業展開を継続することが可能であり、これが雇用の創出・維持、イノベーションの促進、経済成長の強化に直結している。さらに、本協定は、企業が北米各地の経済や地域社会に深く根差し、継続的に貢献するための基盤ともなっている。

予見可能性と確実性は、企業が数年にわたる視点で投資判断を行い、北米全域における設備投資、事業拡大、人材育成を進めるうえで不可欠である。われわれ経済団体に加入する企業は、本協定が長期的に提供する基盤のもと、北米各地で製造、物流、テクノロジー、エネルギー、サービスなど、幅広い事業を展開してきた。こうした投資は、北米域内での統合されたサプライチェーンの構築につながり、地域全体の国際競争力を高めるとともに、新たな投資を呼び込み、同地域の経済成長を支える基盤を強化している。

われわれは、3 か国に対し、本協定の長期的な安定性と実効性への信頼を一層高めることを求める。また、北米経済の統合に向けた共通のコミットメントを示すべく、時宜を得た、建設的かつ将来志向の成果を目指して協議を進めるよう求める。原産地規則など技術的な規定を含む、本協定の見直しに関するあらゆる議論において、北米域内で統合されたサプライチェーンへの影響や、域内企業にとって実務上対応可能な内容であるかという点に十分な考慮をはらうべきである。また、協定に何らかの変更を行う場合には、その変更内容を実効的に実施できるよう、十分な移行期間を設ける必要がある。本協定が今後も安定的で透明性が高く、実効性のある枠組みを提供し続けることを明確に示すことで、企業の信頼を一層高め、北米が引き続き世界有数の投資先であり続ける。

われわれ経済団体が代表する企業は、すでに北米地域において長期的な投資を行っており、米国、メキシコ、カナダに経済的成果をもたらす重要なパートナーであると同時に、事業を展開する地域の経済・社会の持続的な発展にも貢献している。われわれは、見直し後の協定を通じ、北米の統合と競争力を一層高め、共に繁栄すべくあらゆる取組みを支援していく。

Australian Industry Group



BusinessEurope



Canadian Chamber of Commerce



Mexican Business Council for Foreign Trade, Investment and Technology (COMCE)



Federation of Korean Industries



Global Business Alliance



Keidanren (Japan Business Federation)



Keidanren USA



United States Council for International Business

